

遠隔教育活用 修学プログラム



**これからも、教師として働く。
教師として、これからも学び続ける。
学びと教えるのプロフェッショナルになる。**



現職教員を対象とした新しい学びのカタチ



- 働きながら大学院に入学でき、個人用の履修計画を立て、自分のペースで学びを継続できる。
- 変化の激しい社会における新しい教育課題への対応、新しい教育の理論と実践を学べる。
- 基本はオンラインで受講し、長期休業にはスクーリングを取り入れたプログラムで学べる。
- 学校実習科目において、アドバイザー(指導教員)による上越教育大学での対面指導や勤務校での訪問指導が受けられる。
- 上越教育大学附属学校園と連携したプログラムで、附属学校園の最先端の実践が学べる。

「学び続ける教師」でありたい、全ての先生のための 上越教育大学教職大学院の オンラインを活用した新しいプログラム

働きながら自分のペースで学べる大学院がココにある。



本大学院は、働く現職教員のことを第一に考えた「上越教育大学教職大学院遠隔教育活用修学プログラム」という新プログラムを作りました。令和7年度から開講します。初年度入学生を募集します!



教職大学院「遠隔教育活用修学プログラム」をお勧めする10の特長★

1 日本全国どこからでも進学できる

都道府県教育委員会からの現職派遣制度とは異なり、必要な教職経験(3年)を満たし、所属長からの許可があれば、現在の教職を継続しながら、全国どこからでも進学可能です。

2 教職修士(専門職)の学位を取得できる

本プログラムで定められた必要な単位を修得することで通常の教職大学院と同じ「教職修士(専門職)」の学位が取得できます。

3 学びを深めたい専門分野が見つかる

選択できる領域・分野が多数用意されており、学校経営、学級経営、教科教育、生徒指導など、現職教員の学びたい分野に合わせて所属の選択が可能です。

4 2年間分の授業料で3~5年間学ぶことができる

働きながら学ぶ現職教員のために2年間分の授業料で、3~5年の修業年限が各自で選択できるようにプログラムが作られています。

5 連携する附属学校園で学ぶことができる

上越教育大学附属幼稚園・小学校・中学校と連携したプログラムで、研究会への参加や通常授業の参観によって附属学校園の最先端の実践が学べます。

6 個別最適化された単位の履修計画ができる

現職教員の仕事のペースを考慮して、仕事と学びの両立を実現する履修計画を作ることができます。コーディネーターから助言や支援が受けられるので、忙しい教員でも心配はいりません。

7 講義の一部はスクーリングができる

長期休業中に集中講義が設定され、上越教育大学でスクーリングができます。講義の先生、アドバイザー、そして本プログラムを受講する全国の仲間と対面で、協働的に学ぶことができます。

8 自宅のPCから、バリエーション豊富な講義を受講できる

全学体制で講義を展開するプログラムなので、多様な共通科目と、専門的なプロフェッショナル科目が開講され、オンラインを活用し、時間に縛られない形で受講可能です。

9 実習科目の単位免除制度が適用できる

これまでの教育実践等の実務経験や教員経験年数の基準を満たせば、「実習科目」について6単位の免除が可能です。なお、学校実習は基本的に勤務校で実施します。

10 アドバイザーによる充実した指導と他の院生と交流ができる

所属する領域・分野の教員からアドバイザーを選択でき、研究の伴走者として指導が受けられます。また全国から集まった院生とも協働的に学べます。

